

2011年12月期 第1四半期決算説明資料

2011年5月16日
株式会社ワールドインテック
JASDAQ (2429)

東北地方太平洋沖地震について

被災されました皆様へ、喪心よりお見舞い申し上げます。

- 当社グループ従業員における人的被害はございません。
- 被災者支援に向けて、募金活動や必要物資の供給を本社・本部～近隣営業所のリレー等により積極的に取り組んでおります。

仕事「絆」プロジェクトを立ち上げ、被災者就労支援の活動を開始しております。

- 今後、懸念される震災による影響
 - ① 東日本における震災・原発事故による、生産活動の停滞
 - ② サプライチェーンの障害による他地域での生産活動への影響
 - ③ 電力総量規制による、企業活動への影響

第1Qは不動産売買益で大幅利益計上となりましたが、第2Q以降の震災による業績への影響が不透明なため、業績予想は、現状で変えておりません。

2011年12月期、第1四半期総括(1); 事業の進捗

■ 人材関連事業;

- 震災前までは、ファクトリー事業は主要顧客の売上増、R&D事業は新規顧客獲得増が寄与し、前年実績を上回り順調に推移。当第1四半期における震災影響は軽微。
- 第2四半期は、GWによる稼働日減と震災の影響・計画停電等により、影響が出るものと考えますが、第3四半期以降は、復興に向けた需要増を期待。

■ 情報通信事業;

- スマートフォンの順調な伸びが全体販売台数を牽引し、売上は前年を上回る。
- 仕入れ単価上昇による原価率悪化と代理店手数料増による販管費増で利益は前年を下回ったため、利益率改善を推進中。

■ 不動産事業;

- 当初、来期マンション販売用地として仕入れた土地・建物がマンション販売の採算以上の買い手希望主が現れ、経済合理性から売却。

■ その他事業;

- 部品、部材の調達事業で生産減で海外拠点からの発注減少により売上減少。
- 緊急雇用対策特需のあった前年と比較し九州地理情報にて売上利益減少。

2011年12月期、第1四半期総括(2);業績について

■ 特殊要因;

- 特筆すべき点は、不動産事業において、南元町プロジェクトの引き渡し完了に伴い、今年度計画売上上の全てが第1四半期に計上となった点。
- 震災が投げかける業績への影響。

震災発生が3/11ということもあり、第1四半期における影響は軽微。
災害見舞金の支出を特別損失として計上(119百万)

第2四半期はGWによる稼働日減と併せ、人材関連事業への影響が懸念。
(第2四半期の進捗を見ながら、業績予想を見直し開示の予定。)

■ 連結売上高;

- 不動産売却の売上(1,323百万)が大きく寄与し、
連結売上高 9,806百万円(前期比+28.1%)を計上。

■ 連結営業利益;

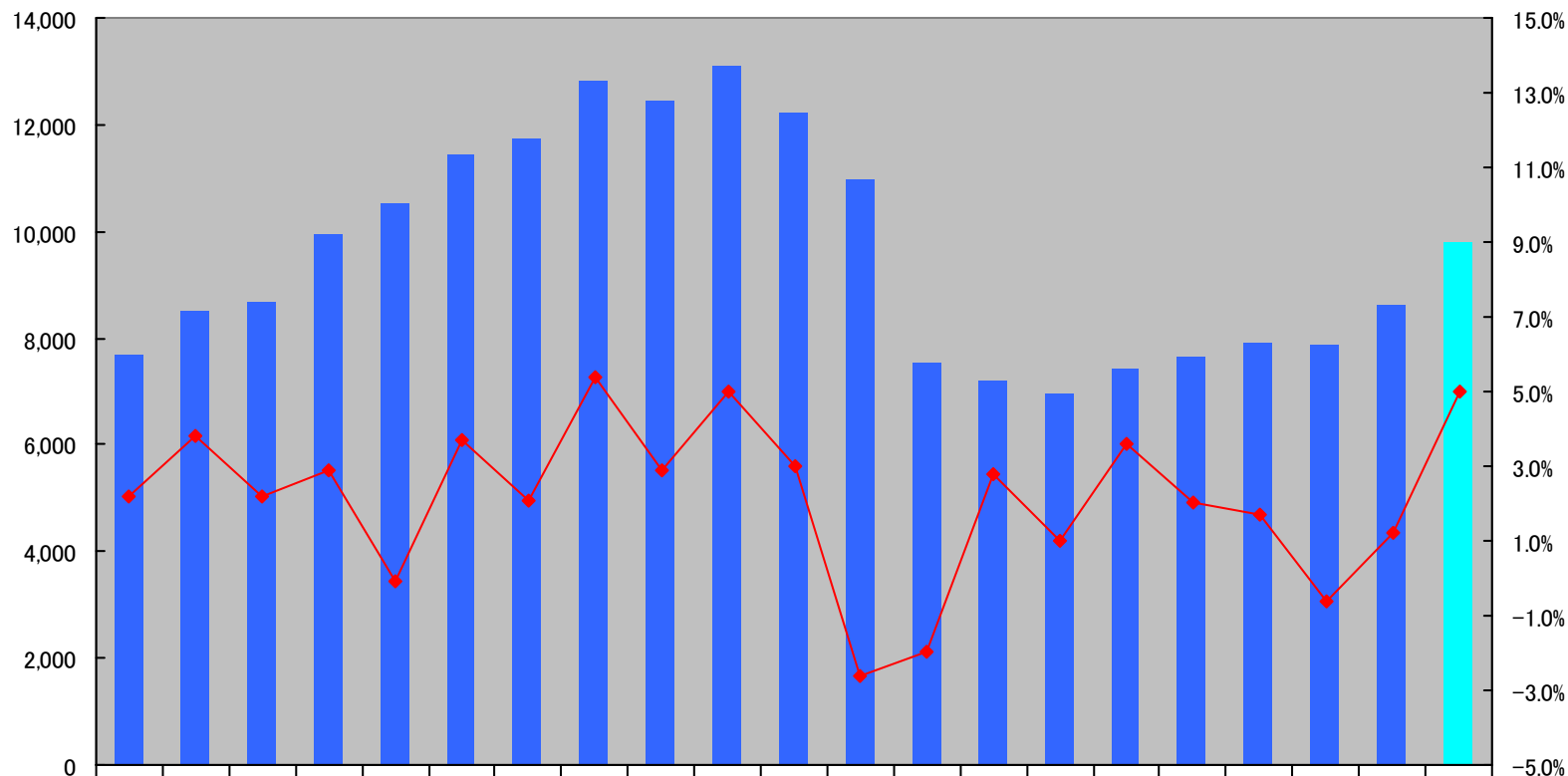
- 不動産売却の利益(338百万)が大きく寄与し、
連結営業利益 487百万円(前期比+214.9%)を計上。

連結業績推移

- リーマンショック後のボトムから、今年3月までは回復基調にあったが、震災発生により、1月・2月の貯金吐き出し。販売用仕入不動産の売却により、売上高は前期比+28.1%増、営業利益率も5.0%に上昇。

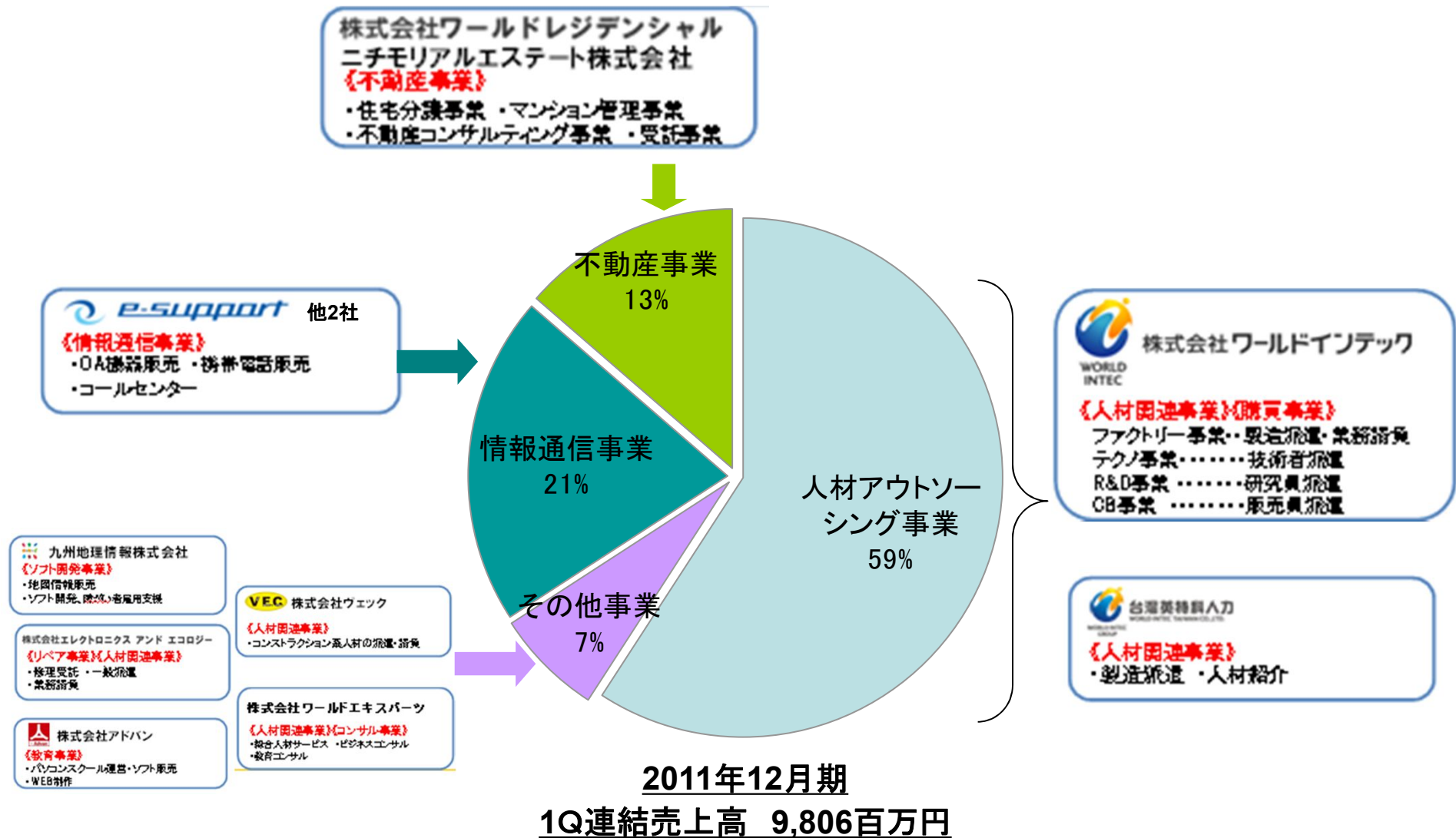
(売上高;百万円)

(営業利益率;%)



	06/ 1Q	2Q	3Q	4Q	07/ 1Q	2Q	3Q	4Q	08/ 1Q	2Q	3Q	4Q	09/ 1Q	2Q	3Q	4Q	10/ 1Q	2Q	3Q	4Q	11/ 1Q
■ 売上高	7,700	8,525	8,673	9,950	10,523	11,412	11,725	12,835	12,445	13,107	12,230	10,984	7,533	7,194	6,959	7,406	7,652	7,926	7,886	8,644	9,806
◆ 営業利益率	2.2%	3.8%	2.2%	2.9%	-0.1%	3.7%	2.1%	5.4%	2.9%	5.0%	3.0%	-2.6%	-2.0%	2.8%	1.0%	3.6%	2.0%	1.7%	-0.6%	1.2%	5.0%

ワールドインテック グループ(連結子会社12社)



2011年12月期 第1四半期連結決算サマリー

売上高

人材
アウトソーシング

- ファクトリー事業で既存顧客の売上拡大
- R&D事業で新卒の積極採用と市場回復がマッチし優位配属の中で増収

不動産

- 南元町プロジェクト物件が、好条件にて土地建物のまま売却引き渡し

利益

営業利益

- 人材アウトソーシング事業は増収による増益寄与
- 不動産営業利益(約3.4億円)の計上で、大幅増益

経常利益

- その他事業で九州地理情報の減収による減益

(連結) (単位:百万円)	2010年12月期 1Q(1-3月)実績	2011年12月期 1Q(1-3月)実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	7,652	9,806	2,154	28.1%
営業利益	154	487	332	214.9%
営業利益率	2.0%	5.0%	-	-
経常利益	209	608	398	190.2%
経常利益率	2.7%	6.2%	-	-
四半期純利益	126	431	305	242.1%
四半期純利益率	1.6%	4.4%	-	-

セグメント別業績概況

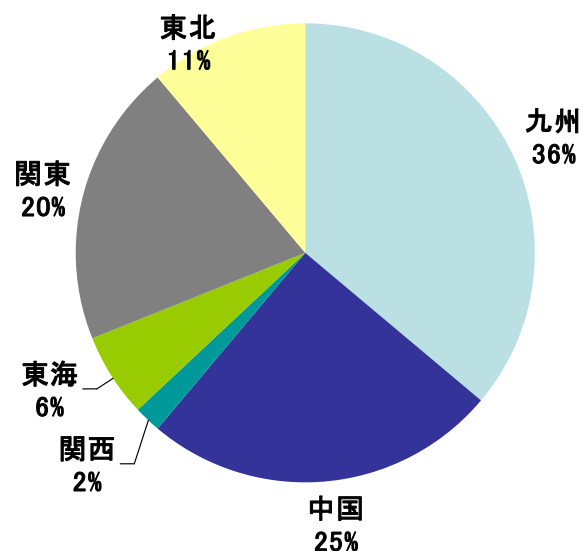
(単位:百万円)		2010年12月期 1Q(1-3月)実績	2011年12月期 1Q(1~3月)実績	前年同期比	
				増減額	増減率
ファクトリー事業	売上高	3,146	3,856	709	22.5%
	営業利益	161	191	30	18.7%
	営業利益率	5.1%	5.0%	—	—
テクノ事業	売上高	1,409	1,395	△14	△1.0%
	営業利益	87	101	13	15.9%
	営業利益率	6.2%	7.2%	—	—
R&D事業	売上高	502	558	55	11.1%
	営業利益	33	65	31	94.2%
	営業利益率	6.6%	11.6%	—	—
情報通信事業	売上高	1,749	2,016	267	15.3%
	営業利益	13	6	△6	△50.1%
	営業利益率	0.7%	0.3%	—	—
不動産事業	売上高	—	1,323	1,323	—
	営業利益	—	338	338	—
	営業利益率	—	25.5%	—	—
その他事業 (前期=各種サービス事業)	売上高	844	656	△187	△22.2%
	営業利益	86	18	△67	△78.5%
	営業利益率	10.2%	2.7%	—	—
合計	売上高	7,652	9,806	2,154	28.1%
	消去又は全社	△227	△234	△6	—
	営業利益	154	487	332	114.9%
	営業利益率	2.0%	5.0%	—	—

人材アウトソーシング事業;地域別売上比率

- 当社は、九州を地盤に全国展開を進めており、今回の震災において直接被害は同業他社よりも少ない状況ですが、サプライチェーンの障害から生じる影響が今後懸念されます。

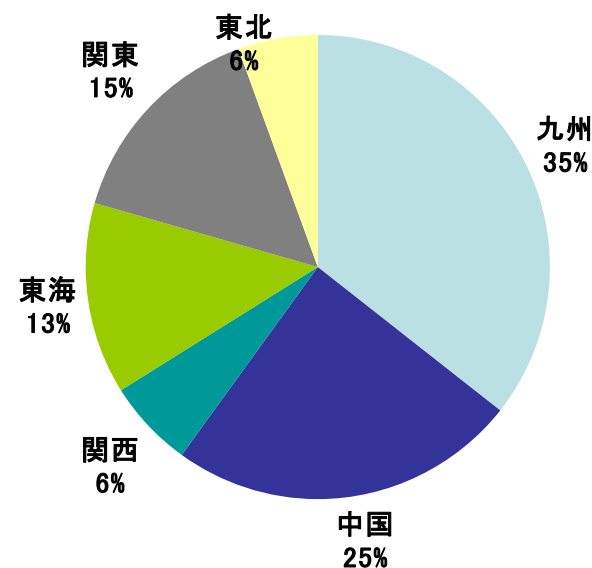
2010年1Q(3月末)

売上高;5,057百万円



2011年1Q(3月末)

売上高;5,809百万円



2011年12月期 第1四半期 BS / CF

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	10/12期末	11/12期1Q	増減 %	コメント
流動資産	11,505	12,566	9.2%	
現金・預金	3,162	3,405	7.7%	
受取手形・売掛金	3,571	3,534	-1.0%	
仕掛販売用不動産	3,829	4,648	21.4%	不動産開発物件
その他	942	979	3.9%	
固定資産	1,861	1,944	4.4%	
有形固定資産	682	673	-1.3%	
無形固定資産	121	121	0.0%	
投資その他資産	1,057	1,149	8.7%	
資産合計	13,367	14,511	8.6%	
流動負債	6,445	7,913	22.8%	
支払手形・買掛金	496	540	8.9%	
短期借入金	2,397	4,109	71.4%	不動産仕入資金
未払費用	2,212	1,953	-11.7%	取引先・社員数増による
未払法人税等	305	119	-61.0%	
その他	1,035	1,192	15.2%	
固定負債	2,077	1,400	-32.6%	
長期借入金	1,761	1,070	-39.2%	
純資産合計	4,843	5,197	7.3%	
自己資本比率%	36.2%	35.8%	-	
負債・資本合計	13,367	14,511	8.6%	

	10/12期1Q	11/12期1Q
営業キャッシュフロー	-46	-576
投資キャッシュフロー	-30	-135
フリーキャッシュフロー	-76	-711
財務キャッシュフロー	-214	953
現金・現金同等物期末残高	3,220	3,409

【営業キャッシュフロー】 △576百万円

税引前四半期利益 527百万円

販売不動産の増加 △771百万円

未払費用の減少 △259百万円

【投資キャッシュフロー】 △135百万円

投資有価証券の取得 △100百万円

【財務キャッシュフロー】 953百万円

短期・長期借入金の純増額 1,021百万円

配当支払 △68百万円

各事業の状況並びに、今期計画



人材アウトソーシング事業；

- ファクトリー事業； 前期比で、自動車(127.2%増)、半導体(114.4%増)が牽引するも、大震災後にスローダウン、4-5月で状況判断



- テクノ事業； 前期4Qに採用強化し、在籍数を拡大。
半導体装置系ニーズの高まり、九州地区の行政受託案件等のニーズはあるものの、大震災後スローダウン。2Q後半から再度回復基調へ

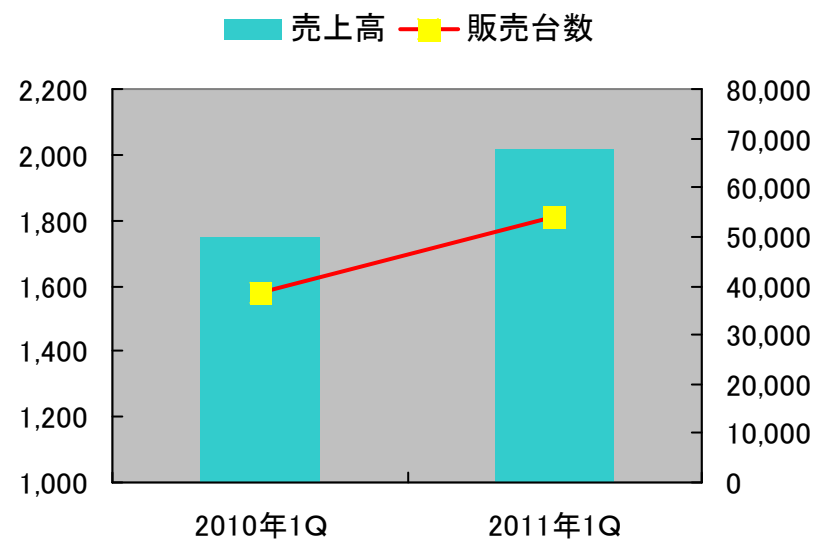
	2010/1月	3月	6月	12月	2011/3月
在籍	1,197名	1,150名	1,234名	1,289名	1,349名
稼働率	97.8%	98.0%	99.0%	99.7%	97.8%

- R&D事業； 順調に在籍数を拡大。
専門性の追求による新規案件の獲得に注力

	2010/1月	3月	6月	12月	2011/3月
在籍	327名	337名	356名	366名	376名
稼働率	98.8%	92.9%	96.3%	95.4%	95.2%

情報通信事業；

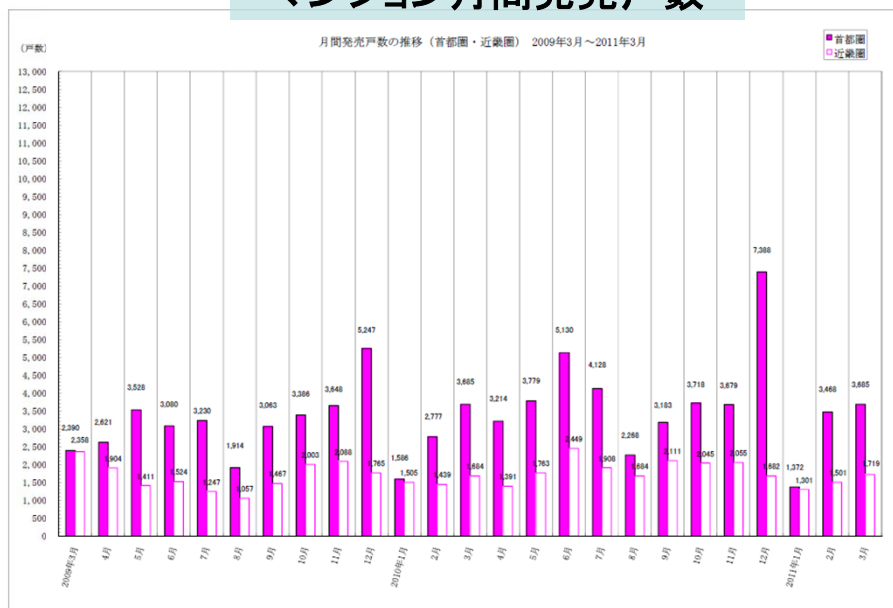
- 連結子会社のイーサポートグループが運営。
 - 九州No1の携帯販売実績 (au, SoftBank)
 - スマートフォン販売が好調



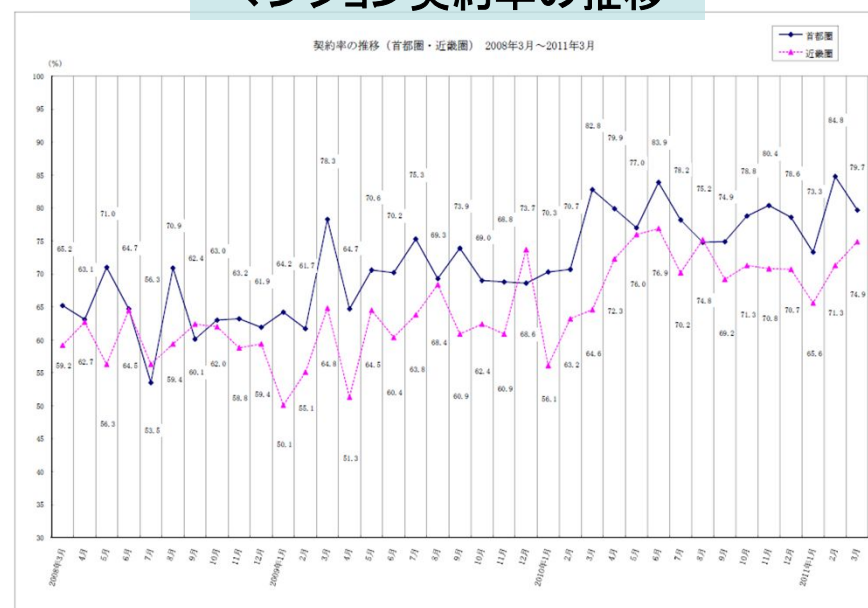
不動産事業(1); 連結子会社ワールドレジデンシャル

- 理念; 「人と文化が集う、まちづくりによって地域に貢献する」
 - 大手と差別化されたブランド形成: ワールドレジデンシャルシリーズ
 - 東京下町の文化を大切に、安全対策に徹したマンション開発
 - 主力商品; 「首都圏」の実需に対応した「ファミリータイプマンション」
 - 2008年リーマンショック後のマンション供給はピーク時8万戸から半減、2011年は5万戸を想定。供給が実需ベースとなり、契約率は上昇中。

マンション月間発売戸数



マンション契約率の推移



(出所: 株式会社不動産経済研究所レポート2011/4/14)

不動産事業(2); ワールドレジデンシャルシリーズ

- 今期(2011年度)販売開始4棟計画 (売上は来年度(2012年度))
 - お花茶屋; 2011年2Qに販売開始 67戸(葛飾区、京成線)
 - 金町 ; 2011年2-3Qに販売開始 44戸(葛飾区、京成線・JR)
 - 荏原中延; 2011年4Qに販売開始 42戸(品川区、東急)
 - 門前仲町; 2011年4Qに販売開始 24戸(江東区、東京メトロ)



2011年12月期連結業績予想の概要

- 2011年は、2012年につながる基盤構築に注力する

(連結) (単位:百万円)	2010年12月期 実績	2011年12月期 上期予想	2011年12月期 下期予想	2011年12月期 通期予想	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	32,109	18,593	17,502	36,095	3,985	12.4%
営業利益	344	279	160	439	94	27.2%
営業利益率	1.1%	1.5%	0.9%	1.2%	—	—
経常利益	487	307	158	465	△22	△4.6%
経常利益率	1.5%	1.7%	0.9%	1.3%	—	—
当期純利益	58	178	△128	50	△8	△14.0%
当期純利益率	0.2%	1.0%	△0.7%	0.1%	—	—

2011年12月期セグメント別業績予想の概要

(単位: 百万円)		2010年12月期 実績	2011年12月期 上期予想	2011年12月期 下期予想	2011年12月期 通期予想	前年同期比	
						増減額	増減率
ファクトリー事業	売上高	14,134	7,720	8,768	16,488	2,354	16.7%
	営業利益	704	185	582	767	63	8.9%
	営業利益率	5.0%	2.4%	6.6%	4.7%	—	—
テクノ事業	売上高	5,964	2,988	3,106	6,094	130	2.2%
	営業利益	369	154	186	340	△29	△7.9%
	営業利益率	6.2%	5.2%	6.0%	5.6%	—	—
R&D事業	売上高	2,082	1,143	1,244	2,386	304	14.6%
	営業利益	131	92	127	219	88	67.2%
	営業利益率	6.3%	8.0%	10.2%	9.2%	—	—
情報通信事業	売上高	8,046	4,036	3,365	7,401	△645	△8.0%
	営業利益	165	120	100	220	55	33.3%
	営業利益率	2.1%	3.0%	3.0%	3.0%	—	—
不動産事業	売上高	52	1,329	0	1,330	1,277	—
	営業利益	△160	76	△425	△349	△189	—
	営業利益率	△308%	5.7%	—	△26.3%	—	—
その他事業 (=各種サービス事業)	売上高	1,828	1,378	1,019	2,397	569	31.1%
	営業利益	19	110	16	126	107	563.2%
	営業利益率	1.0%	8.0%	1.6%	5.2%	—	—
合計	売上高	32,109	18,593	17,502	36,095	3,985	12.4%
	消去又は全社	△884	△458	△426	△884	0	—
	営業利益	344	279	160	439	94	27.2%
	営業利益率	1.1%	1.5%	0.9%	1.2%	—	—

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ワールドインテック

経営政策本部 広報IR室 大本 明彦

TEL 093-533-0540

E-MAIL irinfo@witc.co.jp

URL <http://www.witc.co.jp/>

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。